

## 船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第260号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年10月21日 07時07分ごろ	
発生場所	千葉県千葉港県営市原岸壁 (概位 北緯35°32.4' 東経140°05.8')	
事故等調査の経過	平成21年10月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 ジン トン (カンボジア王国)、1,444トン 8713457 (IMO 番号)、JIN TONG SHIPPING CO., LTD. B 砂利採取運搬船 第五福神丸、425トン 131882、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、中華人民共和国国籍、カンボジア王国免状 B 船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船首部外板き裂、擦過傷 B 右舷船首から船尾にかけて外板擦過傷、係留索切断等	
事故等の経過	A船は、船長Aほか9人が乗り組み、千葉港県営市原岸壁に着岸しようとして、その岸壁の手前約200mでいったん行きあしを止めたのち、極微速力で左転しながら岸壁に向けて前進し、岸壁の直前で行きあしを止めようと機関を後進に操作したが、すぐに機関が後進にかからなかった。A船は前方に着岸中のB船に接近し、B船に衝突する直前に右舷錨を投下したが、平成21年10月21日07時07分ごろ、A船の船首がB船の係留索に接触して切断し、B船の船首が岸壁と反対側に振れたため、A船がB船と岸壁との間に進入し、A船の右舷船首部とB船の右舷船首部とが衝突した。 衝突後、A船は、機関の後進操作をしたが、正常に作動した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好 海象：平穏、潮汐 ほぼ高潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし A船は、千葉港県営市原岸壁に着岸作業中、機関が後進にかからなかった際、速やかに準備している右舷錨を投下し、錨を効かせながら錨鎖を伸ばしたのち、その伸出を止めるなど、行きあしを止める措置をとらなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、千葉港において、A船が岸壁に着岸作業中、B船が同岸壁に着岸中、A船が、機関が後進にかからなかった際、速やかに行きあしを止	

	める措置をとらなかったため、B船と衝突したことにより発生した可能性 があると考えられる。
--	---